

## 稲荷学園 保育施設安全計画

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
安全への配慮	乳児	○SIDS発生予防のため、5分おきに睡眠状況を観察する（慣らし保育中は特に気を付ける） ○安全な環境を整え、発達に応じた探索活動が十分にできるようにする ○一人一人の発達状態を把握し、危険のないよう側で見守る ○午睡時は溢乳や嘔吐物・数物等で口や鼻がふさがらないように見守る ○玩具の大きさや素材等に注意する ○抱っこやおんぶをしている時は、保育者の周囲に気を付ける											
	3歳1児歳未以上児	○SIDS発生予防のため、年齢に応じた間隔で睡眠状況を観察する（慣らし保育中は特に気を付ける） ○一人一人の発達状態を把握しながら安全な環境を整える ○新しい生活の疲れが出てくるため、一人一人の健康状態に配慮する			○一人一人の発達に応じた玩具や遊具を用意する ○環境を整え、ケガや事故（転倒、噛みつき等）を予防する ○水分や休息を十分にとり、静と動の活動バランスに配慮する ○防虫対策を行う ○安全に水遊びが楽しめるよう一人一人の健康状態を確認する ○水遊びでは監視にあたる職員を配置し、複数の職員で目を離さないように行う			○安全な環境を整え、発達に応じた遊びや活動ができるようにする ○暖房器具の点検をし、室内温度や湿度管理に努める ○保育者と一緒に衣服の調節をし、薄着で健康に過ごせるようにする ○保育施設外（園外保育等）活動時は、年齢や発達に応じた計画を立て、移動や目的地での活動は安全に十分配慮する			○手洗い・うがいなどの大切さを知らせる  ○寒い日の安全な遊び方や身支度の仕方を知らせる ・寒い日の戸外での過ごし方、活動の内容、場所に配慮する ・防寒具の着用等		
安全指導	3歳児以上	○保育施設で安全に過ごすための生活や遊びのルールを知る ・登降園の仕方 ・遊具や用具の使い方 ・困った時の対応の仕方 ・散歩時の安全な歩き方	・固定遊具の安全な遊び方 ・生活や遊びの中で必要な用具の使い方 ○火災時の避難方法を知る ・「おはしも」の約束	○雨の日の安全な生活の仕方を知る ・雨具の扱い方、始末の仕方 ○生き物の世話の仕方や、安全な虫・危険な虫について知る ・準備体操 ・プールでの約束 ・安全な遊び方 ○不審者への対応の仕方を知る ・「いかのおすし」の約束	○暑い日の過ごし方を知る ・熱中症予防 ・水分補給 ・遊び場や遊び方、休息の取り方について ○水遊びの決まりや約束を守るとうとする ・準備体操 ・プールでの約束 ・安全な遊び方 ○地震時の避難の仕方を知る	○様々な遊具や用具の安全な使い方を知る ○施設外（園外活動等）での安全な活動の仕方を知る ・交通ルールの大切さ ・目的地での遊び方 ・集団で行動する時の約束 ○健康な生活の仕方を知る ・衣服調整の大切さ ・けがや危険時の対応の仕方	○戸外で体を動かし、健康に過ごす ・気温や活動に応じた服装	○暖房器具を使用する際の温度や換気について知り、健康管理に意識を持つ	○風邪予防に関心を持つ ・手洗いうがいの大切さ ・生活リズムの大切さ	○寒い日の安全な遊び方や身支度の仕方を知る ・防寒具の着用等 ・寒い日の活動前には十分に身体をほぐし、怪我の予防に努める	○進んで体を動かし、健康に過ごす ・十分に体を動かす ・薄着の習慣を身に着ける	○保育施設で安全に過ごすためのルールの大切さに気付き、守ろうとする	
		○毎日の出席・欠席・遅刻・早退児を必ず把握し、職員間で確認をする ○室内活動時はもちろん、施設外活動時は特に、常に子どもの行動の把握に努め、職員間の役割分担を明確にする ○複数のクラスが同時に遊ぶ場合は、保育者の配置、声かけ等、職員間の連携を図る ○延長保育、土曜保育、合同保育、行事など普段と保育体制が異なる日の配慮事項について確認をする											○年齢や一人一人の発達に応じた遊具の使い方、遊び方に配慮する ○子ども自身が安全や危険を認識できるような働きかけをする ○睡眠時は、安全な環境を整え、年齢に応じた間隔で睡眠チェックを行う ○プールや水遊びをする時は、監視体制の空白が生じないように職員を配置し、役割分担を明確にする
安全管理 (施設・設備・園外環境)	○安全点検表やマニュアルの作成及び全職員での確認・共有 ○災害用備蓄の点検 ○緊急時の合図の確認 ○災害時の職員間の連携について確認 ○散歩経路の危険箇所確認 ○害虫による被害対策（毛虫、ハチ等の害虫駆除、虫よけ虫刺され対策）		○室内外の安全点検（遊具・用具・玩具・遊具車等含む） ○災害時非常持ち出し品の確認、点検			○プール、水遊びの安全衛生管理と事故防止点検 ○冷房設備の点検、準備			○戸外における遊びの場や動線の安全確認及び戸外遊びの際の健康管理 ○運動会への取り組みにおける安全確認及び健康管理 ○様々な運動用具の点検 ○暖房設備の点検、準備、安全対策			○降雪時の安全確認（凍結のおそれのある場所の確認等） ○水道管の凍結防止対策	
	※施設や地域の状況に応じて立案した避難訓練年間計画に基づいて実施していく（下記・実施例）												
安全に関する組織活動	避難訓練	○火災訓練 ・避難時の約束を知らせる  ○消火訓練（毎月実施）	○地震訓練 ・地震時の避難の仕方を知らせる	○火災訓練 ・職員間の連携の仕方を確認する	○火災訓練 ・午睡中の避難の仕方を知らせる	○台風時訓練 ・保護者への緊急連絡体制の確認	○地震訓練 ・大阪880万人訓練参加 ・津波の恐れがある場合の避難の仕方を知る	○火災訓練 ・避難経路の再確認をする	○火災訓練 ・消防署との総合訓練を行い、火災時の避難の仕方を確認する（通報訓練を含む）	○火災訓練 ・火災時の避難の仕方を確認する	○不審者訓練 ・警察署と連携し、防犯訓練を行う（通報訓練も含む）	○火災訓練 ・防寒着を着ての避難の仕方を確認する	○火災訓練 ・紙芝居等を活用する ・慌てず安全に避難する
	保護者・地域との連携	○消火訓練（毎月実施） ○行事予定での周知 ○子どもの健康状態、生活リズム等の把握 ○予防接種の確認（内科検診前） ○保護者への施設での安全対策の共有と、家庭内における安全教育実施の依頼 ○施設周辺の安全に関する情報の共有（地域の防犯パトロールとの情報交換等）			○保護者へプール・水遊びの衛生管理及び配慮事項を周知する ○保護者へ生活リズムの調整や体調への配慮を依頼する ○不審者対応について			○保護者へ感染症対策や対応について伝え、施設で感染症が出た際には周知する ○学校等欠席者・感染症情報システム（サーベイランス）を活用し、地域の感染症の状況を把握する ○予防接種の確認（内科検診前） ○消防署との総合訓練 ○防寒具を用意してもらう			○保護者へ生活リズムの調整・体調への配慮を依頼する ○消防署との総合訓練 ○防寒具を用意してもらう		
	研修等	○ヒヤリハット共有・分析 ○危機管理マニュアルの確認 ○防火管理者の選任及び講習について ○アレルギー児の対応について ○害虫被害の予防・対策について			○プール・水遊びの安全衛生管理について ○心肺蘇生法・AEDについて ○熱中症の予防・対応について ○夏の感染症について ○風水害時の対応について ○虐待の予防、早期発見対応について			○応急手当（緊急時・ケガの手当て）について ○感染症対策・対応について			○ヒヤリハットの年間集計・分析 ○情報管理について		
普通救命講習													